

社会資本総合整備計画 事後評価書													令和08年09月15日		
計画の名称	小矢部市下水道化計画（防災・安全）														
計画の期間	令和 0 3 年度 ~ 令和 0 7 年度 （5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	小矢部市														
計画の目標	下水道施設の耐水化を計画的に実施する。														
	下水道施設のストックマネジメント事業を計画的に実施する。														
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）		142	A	142	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3年度当初		R7年度末
1	下水道施設における耐水化工事着手率を0%（R3年度当初）から100%（R7年度末）に増加させる。			
	下水道施設における耐水化工事着手率（%） （耐水化工事着手施設数） / （耐水化工事計画施設数）	0%	%	100%
2	下水道施設のストックマネジメント計画における工事着手率を0%（R3年度当初）から20%（R7年度末）に増加させる。			
	下水道施設のストックマネジメント計画における工事着手率（%） （ストックマネジメント計画における工事着手施設数） / （ストックマネジメント計画における工事計画施設数）	0%	%	20%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	○	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	小矢部市	直接	小矢部市	ポンプ 場	改築	耐水化計画策定	耐水化計画策定 1式	小矢部市	■					5		未策定
	A07-002	下水道	一般	小矢部市	直接	小矢部市	ポンプ 場	改築	今石動町雨水ポンプ場（ 耐水化）	耐水化 設計・工事 1式	小矢部市	■	■	■	■	■	32		未策定
	A07-003	下水道	一般	小矢部市	直接	小矢部市	ポンプ 場	改築	西中野汚水中継ポンプ場（ 耐水化）	耐水化 設計・工事 1式	小矢部市	■	■	■	■	■	65		未策定
	A07-004	下水道	一般	小矢部市	直接	小矢部市	管渠（ 汚水）	改築	ストックマネジメント計 画事業	ストックマネジメント実施計 画策定・点検調査・設計・工 事 1式	小矢部市	■	■	■	■	■	40		未策定
	A07-005	下水道	一般	小矢部市	直接	小矢部市	-	新設	内水浸水想定区域図作成	浸水シミュレーション、内水 浸水想定区域図、内水ハザー ドマップ作成 1式	小矢部市					■	0		未策定
										小計						142			

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											合計						142			

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

小矢部市

事後評価の実施時期

令和 8 年 9 月

公表の方法

小矢部市ホームページに掲載

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道施設における耐水化整備に取り組んだ。
小矢部市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、ポンプ場などの老朽化した施設の改築に取り組んだ。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

下水道施設の耐震化対策については、計画策定の時期も含めて検討していく。老朽化対策については、引き続きストックマネジメント計画に基づき実施していく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	＝（耐水化工事着手施設数） / （耐水化工事計画施設数）		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	＝（ストックマネジメント計画における工事着手施設数） / （ストックマネジメント計画における工事計画施設数）		
	最 終 目標値	20%	
	最 終 実績値	20%	